



2014年8月1日

特定非営利活動法人 風の家
〒730-0843 広島市中区舟入本町 17-8
082-232-6696
buratto-hiroshima@wine.ocn.ne.jp
<http://kazenoie.jp/>



理事長就任挨拶

理事会において役員改選が行われ、鷹村理事長の後を継ぎ、新理事長に就任させていただくことになりました。今後ともこれまでと同様に、「風の家」の活動に対してご理解とご指導のほどを宜しくお願いいたします。

さて、「風の家」は当初の任意の活動を含めると、これまで宿泊や相談等の受け入れで200名近くの利用者に対して支援を行ってきました。活動を始める前に予測していたよりもかなり多くの人に携わることになりましたが、これまで我々の活動を支えてくださった関係者の皆様には感謝の一言です。

しかしこれまでの活動を振り返ってみますと、入所後すぐに再犯をしてしまったり順調に自立生活を送っていると安心していただけが予想外に逮捕されたりしていますが、その度に「風の家」としての活動の難しさを実感させられています。再犯者を出すにつれこれまでの活動が果たして再犯防止と更生自立のために本当に貢献できているかどうか見直さなければならない時期に来ているのではないかと感じています。

「風の家」の活動理念の中には、期限を設けなくて個々の自立の時期を見極めて退所してもらおう或いは、何度失敗しても支援をし続ける等がありますが、観念的な個々に対する思い入れだけで支援活動を行ってればそれが支援の押し売りにすぎなくなるという観点に立つ必要があります。

これまで事業を展開していくうえで忙しさにかまけて、対象者の環境面での支援をして自己満足的にそれでよしとしてきたところがありましたが、今後より充実した事業を展開するためには支援の両輪の一方である、これまで疎かになっていた心の部分に対するアプローチを充実させていく必要があると考えています。これまでもカウンセリング等の実施により心理面での支援は行ってきましたが、近い将来「風の家」の更生支援事業をより充実させるために「心理研究所」の立ち上げを考えています。

とは言え、対象者に満足な支援が届けられるようまた、職員が働きに見合った報酬が得られるようにするためには、安定的な経営基盤作りが喫緊の課題です。私の大きな役割の一つとして自覚しております。今後とも皆様より暖かい支援のほど宜しくお願い致します。

理事長 嘉戸 篤

今の場所に拠点を移して、2年が経ちました。ありがたいことに、地域の方々にも受け入れていただき、ようやく施設としての安定感も出てきたように思います。今年度に入ってからはお花見、小豆島での田植えなどの行事が続き、作業所ではおかげさまで、毎日たくさんの仕事をいただき、にぎやかにやっています。施設のほうでは、利用者が毎日、弁当を持って仕事に行っています。夕方に帰ってくると準備された食事を取って、それぞれ思い思いに過ごしています。パズルをしたり、ケイタイをつついたり、雑談をしたり、広島カープの試合が放送されている時には、テレビを囲みながらみんなであれこれ言っている場面もよく見られます。施設には色々な地域から人が集まっていますが、やはり広島出身者はカープの話題になると、熱い思いがあるようです。勝つと喜び、負けるとがっかりして部屋に戻っていきます。毎日暑い日が続いており、日に焼けた人が増えています。

利用者 の声

風の家での生活は、自分が自立するために必要な場所だと思います。なぜなら、職員の人たちや風の家にいる人たちからいろんなことを学べるし、自分が自立する上で支援してくれて助かってます。

一日も早く風の家を出て、自分が成長することが今の目標です。一日一日を大切に生き、同じ過ちをしないようにする。これからの人生頑張ります。（Mさん）

僕にとって自立準備ホームに対するイメージは、地味で、つまらない生活というものでした。だけど、実際入居すると、アットホームな感じがあり、すごく生活しやすく、大家族のように仲が良く、上手な人間関係の持ち方も学べそうです。先生は、助言、指導を行なってくれ、入居者の方は、励ましてくれ、勇気づけてくれる。

大家族とともに早く自立できるよう、しっかり頑張ります。（Nくん）



お知らせ

風の家施設、ぶらっと広島では今回、利用者が描いたイラストを元にしたコースター作品の販売を始めました。5枚で500円です。一生懸命取り組みましたので、多くの人に目にさせていただきだけでも、喜びと自信につながると思います。作品はホームページに掲載しています。是非一度ご覧ください。

また、7月には当団体の活動がTBS系列の「報道特集」において放映されました。多くの反響をいただきました。これからも活動が報道されることがあると思いますので、機会があればご覧ください。

職員より

7月より入所時の聞き取り調査面接のメンバーに加わりました。利用者は面接すると聞くと身構えるので、風の家に来るまで経緯を具体的に聞くのは難しく感じます。聞く項目が決まっているものの、どのように質問したら項目に合った回答を自然に聞きとれるのか必死に考えながら面接を行っています。さらに、面接時の利用者の様子にも注目し、話し方、協調性、性格などを感じ取る必要があります。初面接では、利用者よりも自分が緊張していたので、利用者をさらに緊張させたのではないかと心配です。これからは、心に余裕を持ち面接に臨みたいです。（I）

編集後記

今号から装いを変えて再出発をしてみました。いかがだったでしょうか。多くの方に読んでいただきやすいように、全体をシンプルにしつつ、現代的な体裁で構成してみました。ニュースレターで取り上げて欲しいこと、また当団体への要望などありましたら、お気軽にご連絡ください。皆様からのフィードバックが何よりの励みになります。次号は来年の1月ごろの発行を予定しています。12月にはフォーラムも開催予定ですので、是非お越し下さい。